



施設長トーク 「えーる油山」が開所して5か月が経ちました

「えーる油山」(生活介護20名定員、就労継続支援B型10名定員)が開所して5か月が経ちました。当初15名の仲間たちから出発しましたが、今は、17名の仲間たちが通所しています。これからも仲間が増え、来年度には、さらに新しい仲間たちが通所する予定です。

「えーる油山」の敷地に作られた(道路横)ミニ畑には、現在、なすやズッキーニ、モロッコいんげん、ししとうが植えられ収穫を楽しんでいます。ご近所の方とは、畑の手入れをしていますと、通りすがりに「よう育ってますねえ」「こりゃあ、何という野菜ですか」「ズッキーニです」といった会話が日々交わされ、楽しい時間を地域の方と過ごすことができている。とても温かい気持ちのある地域だなあと嬉しくなっています。このような地域にえーる油山を開所することができたことに感謝します。もっともっと地域の方に「えーる油山」のことを知っていただくために、地域に開かれた施設をめざして、施設開放(コミュニティ作り)に取り組んでいきます。そして、時代のニーズに応じた地域福祉づくりをめざします。10月9日(日)には、長尾中学校で「わはは祭り」が行なわれます。お会いできますことを願い、心よりお待ち申し上げます。

P.S 知的発達に課題がある仲間(ご利用者様)たちが、「えーる油山」の近くに畑作業をするための畑をさがしています。貸していただけるような畑をお持ちの方がおられましたらご連絡いただければ幸いです。

多機能型障がい福祉サービス事業所「えーる油山」管理者 小関正利

支援部だより

夏のオリンピックが終わりました。えーる油山の仲間たちも、作業の合間の休憩時間を使ってテレビで応援していました。水泳を楽しみに見ていたTさん、日本選手がメダルを取るたびに「メダルすごいな。日本がんばってるな」と健闘をたたえていたKさん。

ある日のお昼休みには、仲間 VS 職員で卓球大会を開催しました。日々の出来事を仲間たちと共有し合えることに喜びを感じています。来月は、えーる油山の仲間たちは初めての参加となる「わはは祭り」があります。地域の方々にえーる油山のことを知っていただける機会となるよう、仲間たちと準備を進めています。みなさま、ぜひお越しください!!(支援部 岡村)



◇8月の報告

- 8月4日 ハローデイ春日店バザー
- 9日 ハローデイ橋本店バザー
- 10日 ハローデイ姪浜店バザー
- 18日 ハローデイ周船寺店バザー
- 20、21日 きょうされん職員学習交流会
- 25日 ボンラパス薬院店バザー

*特別支援学校の実習生を受け入れました。

◆9月の予定

- 9月1日 ハローデイ春日店バザー
- 8日 ハローデイ姪浜店バザー
- 13日 ハローデイ橋本店バザー
- 15日 ハローデイ周船寺店バザー
- 17日 公開支援、ながずみ夜市
- 23日 衛生委員会
- 25日 障がい者スポーツ大会
- 29日 ボンラパス薬院店バザー

サビカンってなに?!

ある方から、「サビカンって聞いたとき、錆ついた(水道)管のことと思ったよ」と言われたことがあり、私は、思わず吹き出してしまいました。普通に私たちが使っている言葉は、違う業界からするとそんな風にイメージされるんだなあと思ったところでした。

「サビカン」とは、「サービス管理責任者(サビ管)」のことで、障害福祉サービスにおいて利用者に適切なサービスが提供されるように、個別支援計画の作成やサービス提供プロセスの管理などの業務をしています。えーる油山のサビ管になって5ヶ月が経ちました。今後もよろしくお願ひします。 サービス管理責任者 藤環

袋かきCHANNEL

★フェルト・さをり がんばってます。

糸島にあるフェルト雑貨のお店より、フェルトボール600個の注文をいただき、仲間一同きれいなボールが作れるようがんばりました。納品に行った仲間も、がんばって作ったことを労われ嬉しそうにしていました。来月も喜んでいただけるようがんばります!! さをり織りは仲間Kさんが毎日がんばって織っています。現在、商品開発の真っ最中で、きんちゃく袋やストール、くるみボタンにできないかと試行錯誤しています。商品化できた際は、皆さまぜひお買ひ求めください。(支援員 岡村)

★葦の家後援会の配達がんばりました!!

2カ月ほど配達の仕事をしていただきました。毎日どこかに出かける日が続いて大変でしたが、葦の家・えーる油山に入って一番仕事をした感じで、充実していました。冬もあるということなので、うれしいです。(仲間 三浦さん)

